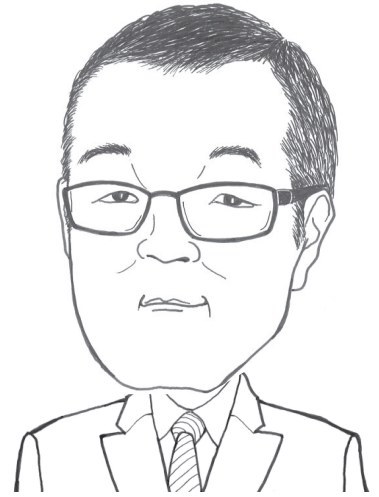


with コロナ時代の イベントの在り方について

町長 感染症対策を工夫し、イベントを開催していく



高橋 政悦 議員

町長 新型コロナウイルス感染症が、収束の見通しが立たない中、イベント主催者や参加を待つ方につ

問 今年こそは、アフターコロナかという期待もあったが、ステルスオミクロン株による第7派の心配も出てきている。イベントの中止、不要不急の外出禁止等社会活動の「オンラインとリアル」について考えざるを得ない状況である。今後のイベントの開催の在り方について、そして本町の新たなライフスタイルについて町長の考えを伺う。



コロナ禍前のイベントの様子

いては、多大な苦勞と不安が重なっているものと認識しており、「三つの密」を避ける対策や業種別ガイドラインを参考に、イベントの開催や公共施設の利用をお願いしてきた。ワクチン接種が進み、社会活動の環境が整って行くと思うが、感染症対策は引き続き必要である。開催方法や開催場所を工夫するなどイベントが開催できるよう進めたい考えである。

感染対策は必然で感染症を理解し、思いやりのある社会が望ましく、町民の皆様と努力してまいりたい。

町長 町は地域防災計画に基づき、防災活動が効果的

問 自主防災組織にリーダーを養成するための訓練等あらゆる場面を想像しながら、その対応を考えたことがあるのとないのでは災害発生時の対応に大きな差が出てくると思われる。令和4年度には自主防災組織リーダー養成、避難所の開設、運営の力リキラムと、HUG訓練を追加するとともに、地域の方々に対し避難所の開設・運営に、自分たちが主体的に携わる必要があるのだという意識啓発を行政が行っていくべきと考えるが町長の考えを伺う。

自主防災組織推進と火防組織の在り方、令和4年度予算への反映について

町長 今後とも効果的な防災活動を行う

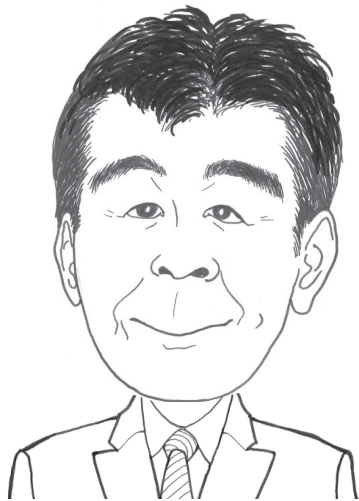
問 自主防災組織に行われるよう協力体制の確立を図っている。自主防災組織加入は全世帯の58%で非常時の避難行動に連携・協力して取り組んでもらえるようあらゆる機会を通じ働きかけを行っている。今年度は町内小中3校の児童、生徒に災害を正しく理解し、防災・減災行動について考える機会を持った。一般の方々に対して、避難訓練をはじめ起こりうる避難所の状況での適切な対応、率先した行動ができるよう意識を高める取り組みを行っている。

問 自主防災組織および火防組織については目的・意義について概ね共通しており、組織統合等が必要では。方向性を伺う。

町長 自主防災組織は地域住民が協力・連携して災害に備えるため、全町的に結成を呼び掛けている。市街地では火防係と防災係を兼ねるなど町内会の実情で可能であり、火防係の役割は今後も重要である。

HUG 訓練とは

避難所運営をみんなで考えるための防災カードゲーム。避難者の情報（年齢・性別・家族構成・持病など）が書かれたカードを、避難所に見立てた紙の上に、適切に配置して、避難所運営を疑似体験できる。



深沼 達生 議員

本町において農業用水を通す計画について

町長 再度、関係機関へ協力をお願いする

問

近年の農業は気候変動と、異常気象により各地で被害が出ている。本町においても高温や干ばつによる被害が地域によっては増えており、今後の異常気象によつては被害がさらに増える可能性がある。以前、人舞・下佐幌地区で農業用水についての説明会とアンケートを取ったがその後どうなっているのか、また、農業用水を通す町全体の計画はあるのか伺う。

町長

平成25年度
に清水町全

域における農業基盤整備事業のアンケート調査を行い、帯広開発建設部に分析調査を依頼した。その結果、人舞・下佐幌地区における国営かんがい排水事業導入の可能性があるとのもので、平成26年度に個別聞き取りにより要望調査を行った。その結果、国営事業の



農業用水給水口

採択要件の受益面積一千ヘクタールに達していない結果となった。新規に水利権を取得することは非常に難しく、水源は現状の水利権を有している新得町屈足の奥にあるパンケニコ口川を想定していたことから、帯広開発建設部の協力を得て、新得町に事業の説明と事業

参加の要請を行った。平成28年の台風後は、災害復旧への対応や道営事業の実施により新得町との協議が滞っていたが、令和元年度に再度協議を行った地元意向では、かんがい用水を要望する戸数が少ないとの回答であった。今後温暖化による被

農業用水とは

作物の栽培に必要な水を農地に供給するため用水路を整備し水を運び、散水機により畑にまく水のこと、主たる取水源は河川の流水を利用しています。

害が予想されることから、再度帯広開発建設部に協力をお願いし、本町としても新たに受益面積の把握や、新得町への協力を働きかけていきたい。